

#13 技術の進歩、デジタルデバイド

Yutaka Yasuda

デジタルデバイドとは何か

- 2000年ごろの米国で取り上げられ始めた問題
 - デジタル情報や情報技術を扱うものと扱わないもの
 - それによる待遇や機会の格差
 - それを自動拡大する構造の存在

デジタルデバイドとは何か

- 格差問題
 - 従来から多くの分野で存在
 - 経済（貧富）、教育、生活水準など全ての分野で
 - 地域、国家、人種、階級などを境界として
- 複合問題
 - 深く互いに連動しあっている
 - 独立に解けない

デジタルデバイドとは何か

- 格差問題の解決
 - 我々は努力し続けてきた
 - 機会均等という考え方
- デジタルデバイドとは
 - 情報技術が従来の格差を押し広げる
- 情報格差ではなく情報処理格差

デジタルデバイドとは何か

- 現在では米国内に限らず一般化
 - 地域、国家間の問題としても取り上げられる

ccTLD

- Country Code Top Level Domain
- .tv ドメイン
 - ccTLD による .tv の割当 (1991)
 - dotTV が 10年5000万ドルで購入 (2000)
(2002 に Verisign が事業会社ごと 4500 万ドルで買収)
 - 国連に加盟 (2000)
- 何が起きているのか？
- これから何が起きるのか？

ccTLD

- Internet はすべてのものをフラットに接続するが、世界はそんなにフラットではない、ということ
- 多くのデジタルデバイド問題に通底する要件か

技術は人のために

- 「市場原理や競争促進と言っても、個人を裸のまま産業経済の大海に放り出すためではない」
(『デジタルデバイドとは何か』木村忠正 2001)
- デジタル技術の発展と健全な社会発展とを合わせながら進めるように
- 技術の進歩は止まらないし止めるべきでない
- 否応なしにその中で暮らすという自覚を